

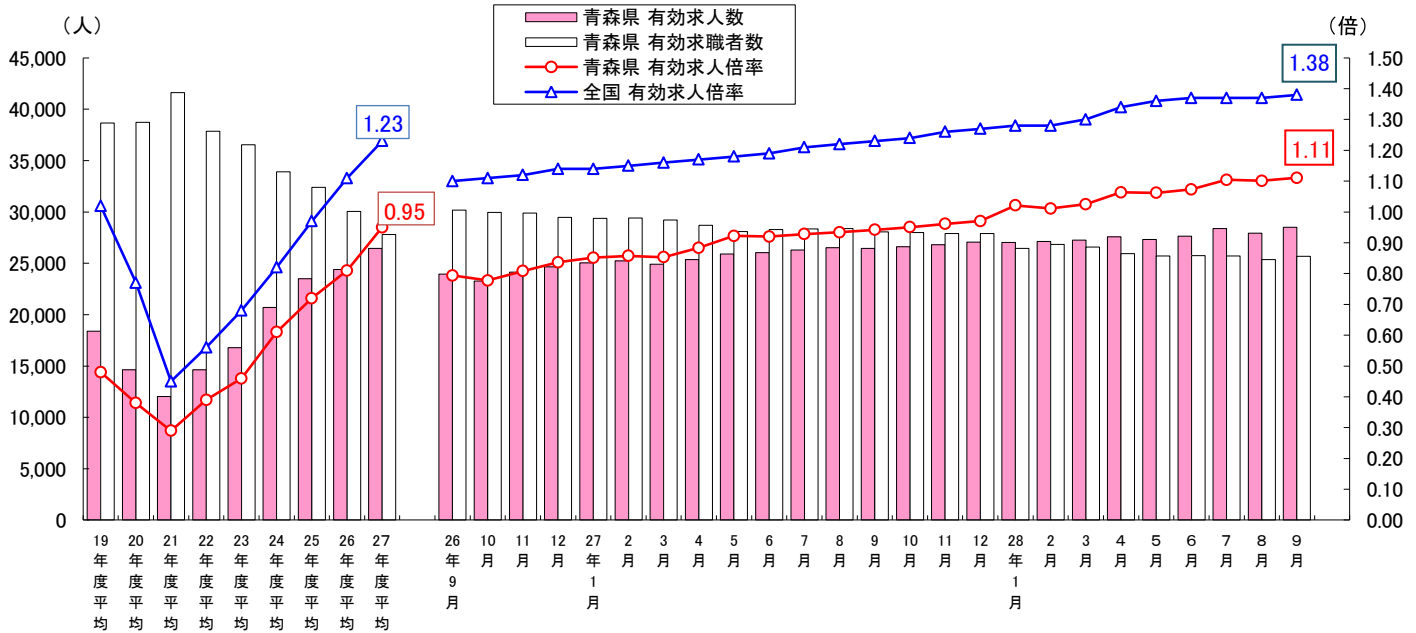
# 最近の雇用情勢について

(平成28年9月)

青森労働局

## I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

9月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ2.1%増加の28,506人、有効求職者数(同)は1.2%増加の25,671人で、有効求人倍率(同)は1.11倍で前月を0.01ポイント上回った。

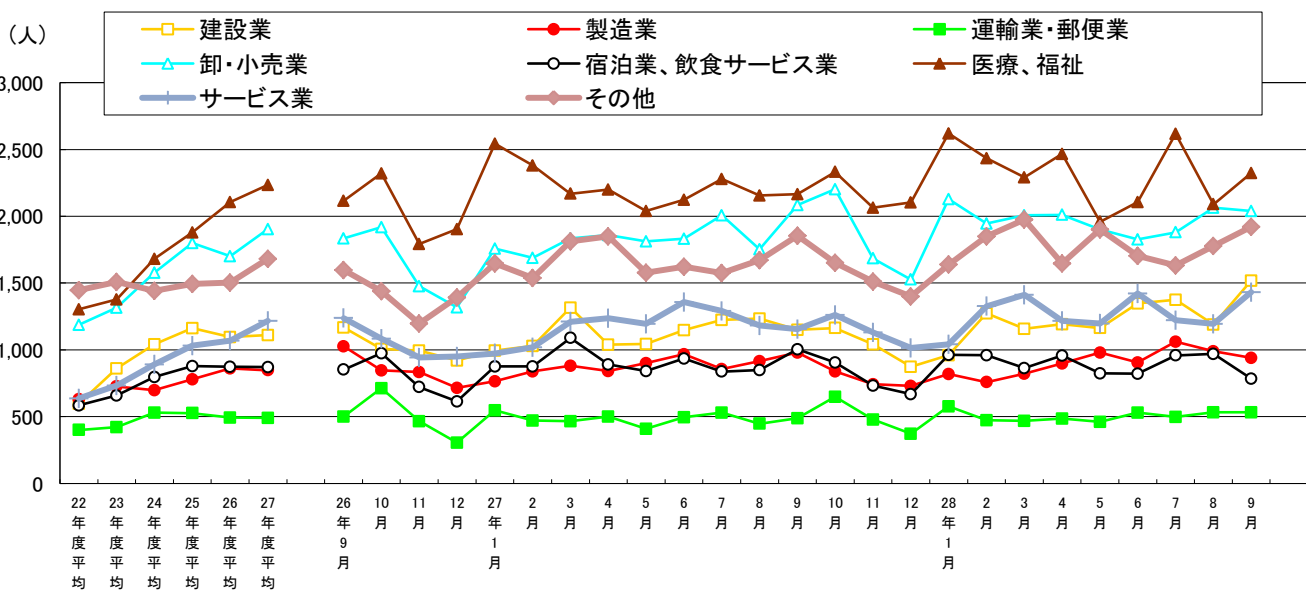


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成27年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

9月の新規求人数(原数値)は前年同月比5.6%(613人)増加、前月比6.4%(688人)増加の11,496人。

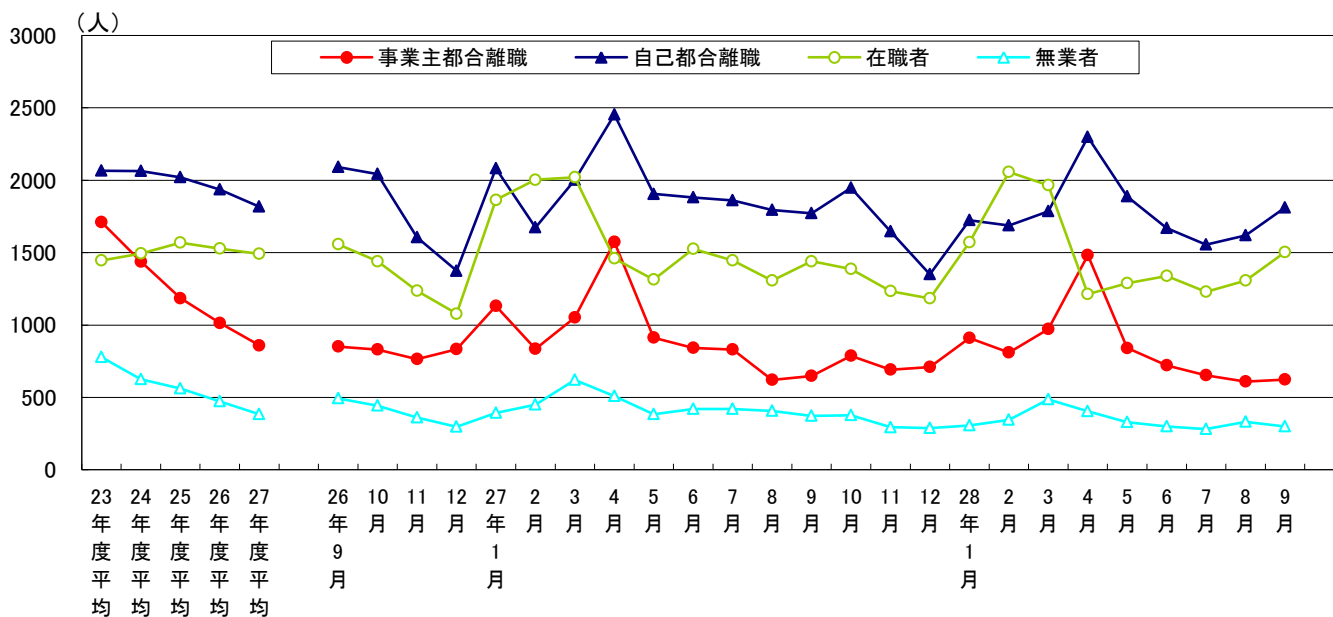
産業別で前年同月と比較すると、建設業、情報通信業、運輸、郵便業、生活関連サービス、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、サービス業等で増加し、製造業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、物品賃貸業、宿泊業、飲食サービス業等では減少となった。製造業では、食料品製造、飲料・たばこ・飼料製造業、印刷・同関連業、窯業・土石製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で増加し、木材・木製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、業務用機械器具製造業、電気機械器具製造業等で減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

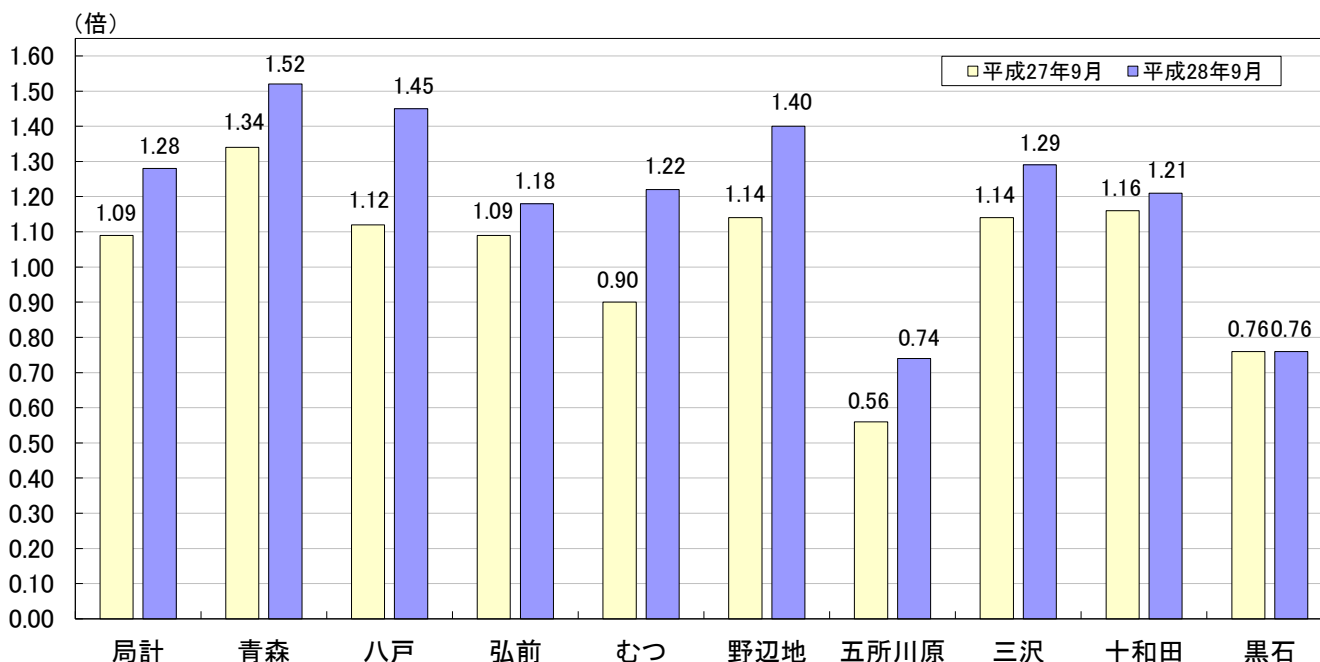
### Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

9月の新規求職者数は、前年同月比0.05% (2人)増加、前月比9.6% (379人)増加の4,317人。  
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は4.3% (62人)増加し、離職者は0.5% (13人)の増加、無業者は19.6% (73人)の減少となった。  
 離職理由でみると、事業主都合は4.0% (26人)の減少、自己都合は2.1% (38人)の増加となった。



### Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

9月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.28倍となり、前年同月を0.19ポイント上回った。  
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

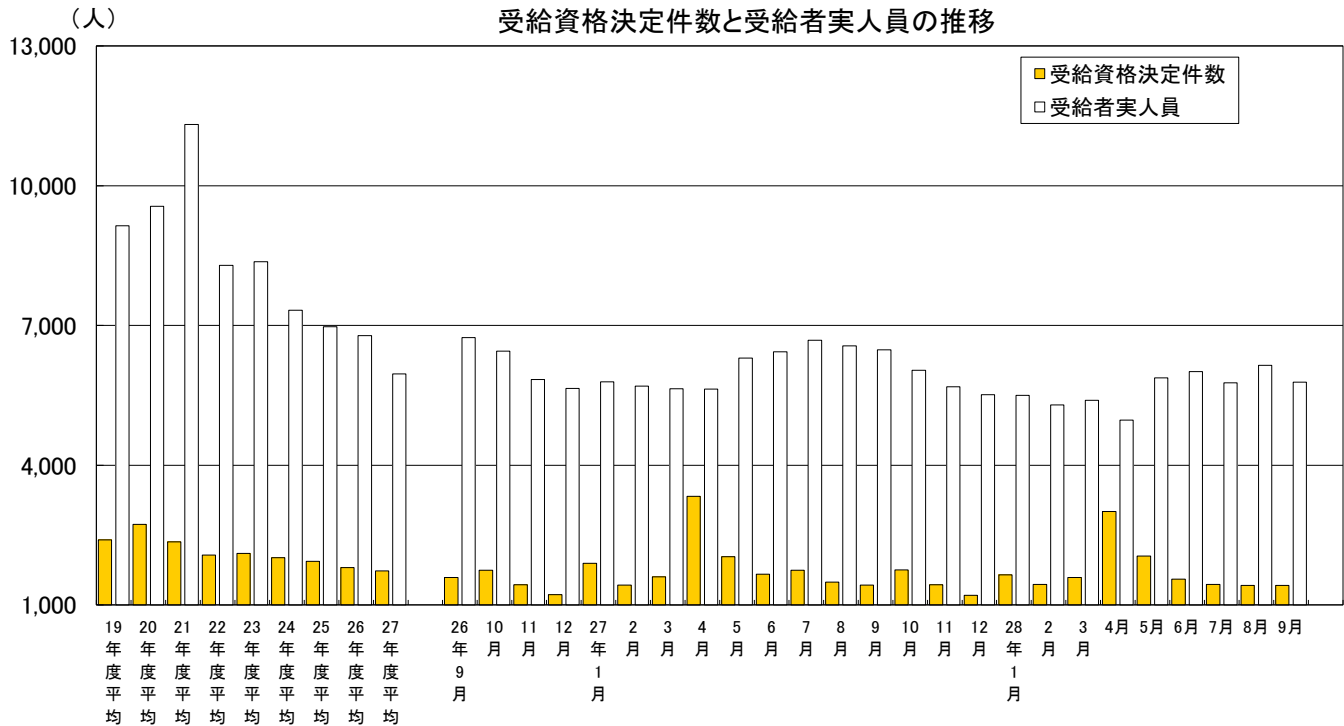


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	23,525	5,879	5,275	4,511	1,052	771	2,163	1,357	1,158	1,359
有効求人数	30,051	8,939	7,639	5,319	1,287	1,080	1,599	1,749	1,403	1,036

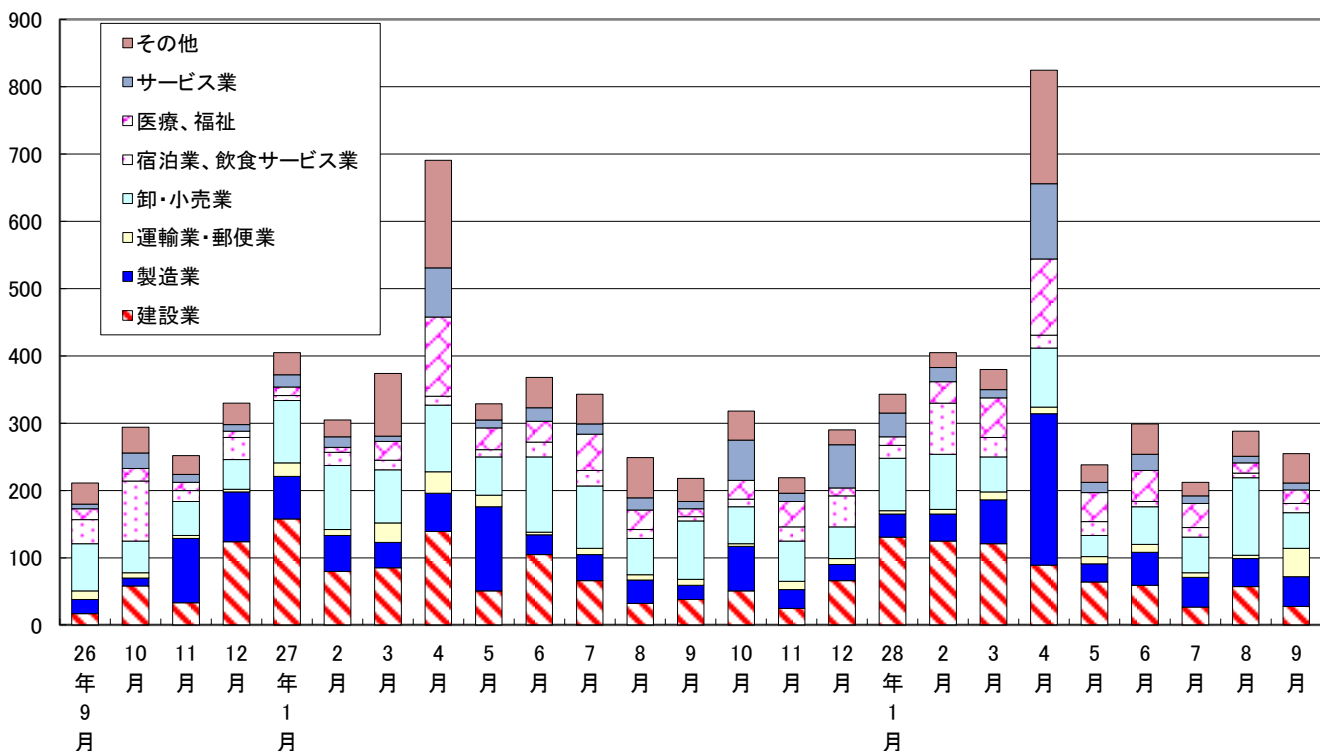
## V 雇用保険の状況

9月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比10.7%（694人）減少、前月比では5.9%（360人）減少の5,786人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比0.6%（8件）減少、前月よりも1人増加の1,421件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比17.0%（37人）増加、前月比11.5%（33人）減少の255人となっている。



(人) 事業主都合による資格喪失件数の産業別推移



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。